

## 測量の日推進協

### 野々村教授招き講演会

「測量の日」四国地区推進協議会は3日、香川大学の野々村敦子教授を講師に迎え、高松市で記念講演会を開いた。写真。測量会社などから約45人が参加した。野々村氏は、学生とと



もに徳島県三好市井内西地区で、地形情報を活用した中山間地域での地区防災計画作成に携わった。講演では、地形情報の活用のきっかけとして、2014年8月に広島市で発生した土砂災害を挙げ、「同じ地域で被害の程度が大きく異なる」ことに気付き「地域の中で一時避難場所を見つけないといけないだろうか」と思ったという。

井内西地区では、地域住民とワークショップを通じて、防災力向上に取

り経んだ話を紹介。大降や地震の時に周りで起こったことを聞き取った際、「地図があれば有

効」とし、被災の状況を地図にまとめた際のポイントを説明した。